

保護者様からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 4 月 1 日

事業所名 エターナルプラスアカデミー福島 小倉寺教室

保護者等数(児童数) 20名 回収数 18名 割合 90%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	89%	0%	0%	11%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	56%	6%	0%	39%	・男の先生がもう少しの方が良いと子供が言っている。 ・各利用日の職員数を把握できていないのでわからない。 ・職員数や職員が持っている資格など、詳細がよくわからない。	職員体制と役割、資格等が分かるように玄関周りに掲示します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	41%	12%	0%	47%		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	94%	0%	0%	6%		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	94%	0%	0%	6%	楽しく通所できるように努力頂いている。	保護者の方々のご意見なども参考にさせていただき、今後も創意工夫をして実施していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28%	11%	22%	39%	コロナ禍なので仕方がない。	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	83%	11%	6%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	72%	17%	6%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11%	17%	44%	28%	・コロナ禍なので仕方がない。 ・進路についてどうするか保護者同士の情報交換ができると良い。 ・いつも相談にのっていただき感謝している。	保護者間の情報交換、連携の方法等については、今後、保護者様の方々と相談しながら検討してまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	56%	11%	0%	33%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	78%	11%	0%	11%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%		
	14 個人情報に十分注意しているか	94%	0%	0%	6%		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	67%	6%	6%	22%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	83%	6%	0%	11%		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	78%	11%	6%	6%	・高学年になって他にやりたいことも出て来て、以前ほど通所を楽しみにしている感じがしない。 ・いつも楽しく通所している。	今後、中学校に進学するお子様の支援体制と支援内容の充実を早急に進めて参ります。
	18 事業所の支援に満足しているか	83%	17%	0%	0%		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 4 月 1 日

事業所名 エターナルプラスアカデミー福島 小倉寺教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	86%	14%		さらに手厚い支援ができるように職員増の検討を行う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	86%	14%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	0%		第三者評価を今後に向けて検討していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	月に2回実施。事後、参加者同士の意見交換。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%		支援計画策定の基礎知識として支援スタッフ全員がアセスメントの理解について研修していきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	「リクエストデー」として子どもたちの希望を取り入れている。保護者様に活動内容のご希望についてアンケートをとり、検討の材料として取り入れるようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	86%	14%	学習支援は保護者と相談しながら進めている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	スタッフ全員で飽きのこないように随時計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	当日の支援記録をSNSで保護者様に送付している。特に気になった点などはミーティングノートに記録。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日振り返りを行い、気になったところなどをミーティングノートに記録、共有をしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	86%	14%		定期的なモニタリングはもちろん、必要に応じて適宜、個別支援計画の見直しを行っていく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	86%	14%		研修等を通じ、適宜、支援内容を確認していく。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%	児童発達支援管理責任者が参加している。	今後は現場支援員を同席させたい。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	60%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	57%	43%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後、リサーチして実施検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	83%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	この点については最重要視して支援に当たっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	67%		保護者会の開催と合わせて、今後、実施を検討したい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		実施の検討をしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、翌月の活動予定表を保護者様に配布している。公式ラインを開設して保護者様との情報交換をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14%	86%		将来に向けて、その可能性を検討してみたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	86%	14%		保護者様への周知に努めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	隔月に1度、実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修を通して未然防止に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	86%	14%		食物アレルギーに関する職員研修をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		